

夕焼のように、明るい明日につなげよう！ 60歳代【夕焼世代】の活躍を期待

夕焼苦楽歩(ゆうやけくらぶ)の発足に向けて

一般社団法人未来社会推進機構 代表理事 吉越 明人

未来社会推進機構は、「1000年集落」をキーワードに、持続可能な地域づくりを目指して、事業を提案・実践するため令和3年3月に発足しました。

同年、自由な意見交換・実践の場として、飯山市小菅の里に拠点施設「オープンラボじねんぼう」を、その1階に「Café & Space めぐる」をオープン(同年5月)させるなどし、約1年が経過しましたが、この間、多くの方との出会いや交流、ご支援をいただきながら、新たな事業にチャレンジし展開してまいりました。

これらの活動を通じて、1000年集落を目指す地域づくりには、世代を超えた「未来を信じる力」が必要であり、そのためには、現役時代のみならず、人生の後半にあたる定年後の生き方も大変重要であるということに気づかされました。

多くの方が定年を迎える60歳代は、仕事、家庭、地域生活などを通じて、人生の苦楽を歩み経験し、多くを学び重ねてきた成熟の年代であり、多くの地域課題を解決する知恵や経験を持っています。この世代の方々が、人生のこれからを楽しみ、いつまでも未来を信じる力を持ち続けて社会のために活躍されたなら、きっと明るい未来社会を築くことができると信じます。

私たちは、この60歳代を「夕焼世代」と名付けました。なぜなら、平均寿命などから人生を80年とし60歳を一日の24時間に換算すると午後6時にあたり、それはまさに夕焼の時刻になります。そして、その夕焼というのは、「明日の晴天の予兆」であり「明るい未来の象徴」でもあります。

未来社会を推進する力は、明るい未来を信じる夕焼世代の活躍なくしてあり得ません。未来社会推進機構は、半世紀以上苦楽とともに歩み生き抜いてきた夕焼世代の仲間たちと、その知恵と経験を未来社会に活かすことにより、「1000年集落」という持続可能な地域づくりを目指していきます。

そして、未来社会推進機構は、このように明るい未来を信じて社会への積極的な参画を続ける夕焼世代の仲間たちを総称して、「夕焼苦楽歩(ゆうやけくらぶ)」と呼び、今後仲間たちを増やし、関係性を深めてまいります。

なお、「夕焼苦楽歩」は、一般的な会員制などの団体ではありません。よって、入会の規約もまた活動の義務もありません。未来と人と力の可能性を信じて、夕焼のように未来へのつながりを持ち続けようとする同志の集まりです。

最後に、未来社会推進機構は、明日の未来社会を志向する「夕焼苦楽歩」の仲間たちが、関係性を確認し、夕焼のような明日の明るい社会の予兆を感じることで大切な今後の人生を動き出す場所として、オープンラボじねんぼうに集っていただけることを願っています。

記

夕焼苦楽歩(ゆうやけくらぶ)について

(1) 発足日

令和4年6月10日(時の記念日)

(2) 目的

60代(=「夕焼世代」)は、苦しい時、楽しい時を歩み、多くを学んできた世代であり、諸々の地域課題を解決する知恵や経験を持っています。この「夕焼世代」が明るい未来社会を信じ、積極的に社会へ参画することが、持続可能な社会や地域を築くことにつながると考え、この趣旨に賛同する多くの有志を募るため、その母体となる夕焼苦楽歩を発足します。

(3) メンバー加入の条件

に60代で、明るい未来社会を信じ積極的に社会・地域づくりへ参画しようとする方。なお、加入による会費や義務はありません。

(4) 内容

会員制の団体組織にはせず、役員もおきません。未来社会づくりに貢献したいと考える、同志のゆるやかなつながりです。

(5) 交流の場

オープンラボじねんぼう (住所 長野県飯山市大字瑞穂 6117-2)

(6) 問い合わせ先

一般社団法人未来社会推進機構 担当 出澤 電話 0269-67-0520

